

報告 平成 28 年度事業計画及び収支予算について

平成 28 年度 事業 計画

国は、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「投資を喚起する成長戦略」の三本の矢による所謂アベノミクスを推進し、現政権の発足時平成 24 年 12 月比で株価は約 2 倍、企業の業績も過去最高水準に回復してきました。

昨年 9 月には、第 2 ステージとして「希望を生み出す強い経済」「夢を紡ぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の新しい三本の矢によって、少子高齢化の問題に真正面から挑戦するとの強いメッセージを打ち出しました。

一方で国の借金は 1,000 兆円を超えており、子育てや社会保障の充実策と財政再建策の両立という難しい舵取りが必要な中、日銀におけるデフレ脱却の強い意思表示であるマイナス金利策の導入など、まだまだ日本経済・社会の行く末に注視しなければなりません。

このことは私どもシルバー人材センター事業においても同様であり、基本理念や目的をしっかりと押さえるとともに、財政基盤を堅固なものにしつつ、国や市の施策も見据え連携を図りながら、自主的に地域の少子高齢化の問題に積極的に取り組んでいかなければなりません。

具体的には、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の更なる推進と新規の地域就業機会創出・拡大事業への挑戦を行います。

また、昨年度から開始しましたワンコンサービス事業を、改善を重ねながらさらにきめ細かく推進することで、現在のみならず将来とも真に地域社会に必要とされるシルバー人材センターを目指します。

私どもシルバー人材センターは、30 有余年の年月を重ね、その経験と知識そして地域の信頼をもって現在に至っていますが、取り巻く環境は厳しさを増し待ったなしの対応を迫られています。

この事態に、会員・役員そして職員が従前に増して協力・団結して、タイムリーかつ荷担に取り組んでまいりましょう。

1 基本方針

- (1) 就業機会の拡大
- (2) 会員の拡大とスキルの向上
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定
- (5) 地域社会のニーズ取組み強化

- (6) 会員による自主的運営体制の確立
- (7) 長崎県シルバー人材センター連合会との連携

2 事業実施計画

(1) 就業機会の拡大

○役員による就業開拓

- ① 理事による就業開拓を継続します。
- ② 地域班・職群班の役員による就業開拓を進めます。

○地域や企業のニーズの把握

- ① ニーズ把握のためのアンケートの実施を継続して行います。
- ② PRを兼ねた訪問による発注者・利用者等の意見等の聴取を行います。

○全会員へ就業開拓取組み

- ① 全会員による就業開拓運動として「会員1人1仕事紹介運動（仮称）」の展開を試行します。

(2) 会員の拡大とスキルの向上

○新規会員の加入促進

- ① 理事による定期的な本部及び地区説明会を継続します。
- ② 会員による口コミの加入促進について、引き続き協力を求めます。

○普及啓発活動の推進

- ① 公益社団法人としての取組みをPRしつつ、センター事業の理解と協力を得ることに努めます。
- ② 各種広報物を活用した町内会を始めとする適宜の情報発信に努めます。
- ③ シルバー人材センター事業の普及啓発促進月間（10月）及びシルバーの日（10月第3土曜日）を中心とした広報活動に取り組みます。

○会員研修

- ① 会員研修の組織化・定期化を目指し、シルバー制度・マナーそして技能などスキルの向上を図ります。

(3) 安全・適正就業の推進

○安全就業の推進

- ① 安全衛生委員会等による就業現場の定期的及び臨時的な巡回指導と安全用具着用励行の徹底に努めます。
- ② 安全研修の組織化・定期化により、会員の安全意識の向上を図ります。
- ③ 全会員に対する「安全だより」の配布を行うとともに、健康診断の受診を奨励します。

○適正就業の推進と公平な就業機会の提供

- ① 法令及び要綱を遵守した就業体制の構築、改善に努めます。
- ② 意識の高揚と適正受注の推進に努めます。
- ③ 適正かつ公平な就業機会の提供を推進します。

(4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定

○経費節減の徹底と事務効率化の推進

- ① 全ての経費について更なる見直しと節減に努めます。
- ② 事務の見直しを含めた効率化を引き続き図ります。

○財政基盤の安定

- ① 自主的かつ自立的事業運営を図るために、公共契約の継続確保と民間契約の確保と拡大に努めます。
- ② 職員研修とOJTを通じた、経営の視点に立った職員の意識改革を行います。

(5) 地域社会のニーズ取組み強化

○ワンコインサービス事業の継続

- ① 町内・各種団体への周知そして会員の就業を通じたPR等など、その普及啓発を進めます。
- ② 事業現場でのシルバー会員ならではのサービスに努め、当事業の定着を目指します。

○「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」展開

- ① 保育・育児分野の就業開拓に取り組みます。

○新規2事業「地域就業機会創出・拡大事業」の展開

次の新規事業を進めていきます。

- ① 子育て世代への応援事業として「シルバー平成寺子屋塾事業」
- ② 地域社会の維持発展につながる事業として「シルバー空き家管理等ワnpackサービス事業」

(6) 会員による自主的運営体制の確立

○理事会・専門部会（総務、事業、配分金、広報、安全・衛生）及び各専門委員会活動の強化に努めます。

○受注業務の円滑・敏速な対応を図るため、職群班の機能の充実に努めます。

○職群班の総会、地域別ブロック研修会の自主的開催に努めます。

(7) 長崎県シルバー人材センター連合会等との連携

- 上記各項目を推進するために、長崎県シルバー人材センター連合会や県内各拠点シルバーとの情報交換を始めとする連携を強化します。
- 高齢者活躍人材育成事業の推進に長崎県シルバー人材センター連合会と連携しながら取組めます。

○ 目指す数値

項 目	目標数値	備 考
会員数	1,400人	平成 28.3.1 現在 1,198 人
受注件数	5,900件	平成 26 年度 5,721件
契約金額	4億2,992万円	平成 26 年度 4億2,823万円
就業率	75.0%	平成 26 年度 74.3%